

稲垣先生のメイド学概論

[第一回](#)

[第二回](#)

[第三回](#)

✿メイドとは

メイドとはいわゆる家事労働をするひと。重要度の低い仕事を、ローコストでこなせるので、若い女性や少女が雇われることが多かったそうよ。

そのためか、彼女らは「Maiden」（処女）と「House Servant」（家政婦）をかけて「Maid」（メイドさん）と呼ばれるようになったらしいよ。



☆メイドあれこれ

メイドに若い女性が多かったのは第一回講義で述べたとおり。

メイドさんがメジャーになってきた頃には、メイドさんを多数雇うことが雇用者にとってのステータスシンボルにもなっていたらしいよ。加えて広いお屋敷とかだと、メイドさんの仕事も分業制だったりしたみたい。

そんなこんなで、彼女らを統率するメイド長なんてメイドも登場したわけ。

現代に至るまでの社会の変遷などによりたくさんのメイドさんがご主人様に仕える、ということは無くなっていったらしいよ。



メイド服

メイドさんが着用するお仕着せのこと。
ヘッドドレスにフリフリエプロン、紺の
ワンピースがパッと頭に浮かぶが、この衣装が
一般的に着用されるようになったのは
縫製技術が発達してきた近代頃かららしいよ。
作業服としての機能性と可愛らしさを
併せ持った、まさにメイドさんの戦闘服とも
言える装備だね。

ちなみにメイド服の起源はベルギーの
民族衣装からきているらしいよ。

